

ひろば

みんな集まれ、「のびっ子ツアー」 鈴木雅典 2

ここに人あり

安心できる仲間のいる学校に

土井一博さん 3

【特集】

お疲れさま 新たに教職員に

なられたみなさんへ

信頼できる大人との出会いの場に 田代美江子 7

問題が起きた方がいい。

問題が起きた方がいい?!

頑張らなくていいですよ

心豊かに、ゆとりをもって

「フレッシュ値」と「経験値」

先生の「ひとこと」は伏流水となって

人生に響くかも

教育実践

「平和の俳句」によってつながる思い

特別寄稿

秩父農工科学高「社会人講座」

教育文化情報

鴻巣市の学校統廃合問題と小中一貫教育

健康で働き、人間らしい生き方を実現するために(12)

労安法で学校を変える

教育相談室の窓 学校を想う

ほっとタイム

舞台「あの夏の絵」に出会って

ブックレビュー 獄中メモは問う

林田悠佑 28

杉本正男 24

佐藤とも子 26

根岸貴美恵 22

小林哲彦 19

佐藤英子 16

SUMMER

夏

80

NO.

さいたまの 教育と 文化

2016年7月20日発行一夏号●さいたま教育文化研究所



みんな集まれ、「のびっ子ツアー」

今から5年前の2011年3月11日。私は、体育館で6年生と卒業奉仕活動をしていました。そこへ突然の大地震。水銀灯は大きく揺れ、私は子どもたちをすぐに体育館の外へと避難させました。



職員室に戻ると、震源が福島であることが分かりました。福島（矢祭町）にある実家に連絡すると揺れは大きかったものの特に被害はなく、家族も親戚も無事であることが分かりました。しかし、毎日、福島原発に大きな波が襲いかかる映像が流れたり、放射能の影響が心配されたり除染のニュースが流れたりして、埼玉で過ごす中でこれまで以上に福島のことを思う日が続きました。

た。

福島のために何かしたいと思いついたところ、埼教組主催の「のびっ子ツアー」を知りました。のびっ子ツアーは、放射能の影響のため外で遊べない子どもたちがのびのび遊べる場や保護者の方が少しでも心を安らげる場を提供することが目的です。

この二泊三日ののびっ子ツアーの中で、私は福島から来てすぐの企画である川遊びを担当することになりました。川遊びでは、自由に川で遊べる時間をたくさんとり、スイカ割りもすることになりました。

いよいよバスが埼玉に着き、緊張した様子でバスから降りた子どもたちでしたが、川を前にすると子どもたちもさうさ全開。ビーチボールで遊んだりアメノボを捕ったりしてあつという間に子どもたちの服はびしょびしょになり、川原には子どもたちの明るい声が響きました。また、スイカ割りでは、どの子も真剣そのもの。スイカが割れると大喜びで、中には何回も何回も並んでスイカ割りを楽しむ子もいました。お母さんたちも子どもたちと一緒に遊んだり、お母さん同士で話したりして、笑顔いっぱいの子遊びになりました。

最初ののびっ子ツアーから4年が経ちます。テレビでは福島のニュースが流れることも少な

くなりました。しかし、今でも避難生活をしている方々の様子や子どもたちへの放射能の影響を心配する声を聞いたりすると、かつての自然豊かでのんびりした福島にはほど遠いなど、淋しい気持ちになります。

そんな福島の子どものために、今年も埼玉県教職員組合と新日本婦人の会が福島の子どもたちへののびのびと遊んで欲しいと願い、のびっ子ツアーを企画しています。子どもたちの笑顔のために若い先生たちにもたくさん参加してもらい、福島の子どもたちには、元気いっばいに自然を楽しんで欲しいです。

ふじみ野市立西小 鈴木 雅典



大森宗次 絵

さいたまここに人あり

安心できる仲間のいる学校に

まず、人間として豊かな生活を



川口市・教職員メンタルヘルスチーフカウンセラー

土井 一博さん

教員であるまえに
一人の人間として

私は、公立の中学校の教員をしていました。当時は校内暴力、なかでも先生への暴力がひどい時期で、私の同僚も休職や退職に追い込まれていく人が多くいました。私自身も部活の朝練から始まり、放課後まで一日13、14時間も学校にいる日々を送っていました。

教員として10年経った頃、「この生活を定年まであと30年も続けていくのか？」という疑問が湧いていた時に、部活の保護者の方に大学教授の方が一度話をする機会があり、「大学院を受けてみませんか」と誘われました。

そして大学院への進学を決意し、32歳で退職しました。当時は今のうちに内地

プロフィール 公立中学校で10年間勤めた後、筑波大学大学院健康教育学専攻修了。立教大学・群馬県立大学等の教職課程の兼任講師。現在、川口市教育委員会学校教職員メンタルヘルスチーフカウンセラー。日本教職員メンタルヘルスカウンセラー協会理事長、順天堂大学国際教養学部客員教授。

留学や長期研修制度などがない時代です。同僚からは「バカなことを」と白い目で見られながら……（笑い）でも、教職員であるまえに一人の人間として大切にされなければいけないんだということを、世の中に示す人間が一人くらいいいものかと思っただけです。

それから、大学院に通いながら6年間で、ビルの清掃から工事現場や営業まで、30くらいのアルバイトを経験しました。そのときにいろいろな出会いがあり、「世の中にはいろんな価値観や考え方の人がいるんだなあ」と実感することができました。それが、いまのこの仕事の「根っこ」になっていると思います。

病氣にならない 予防的対策を

川口市では、10年前に日本で初めて教職員メンタルヘルスカウンセラーが配置されました。当時の川口市では、管理職も含めてかなりの休職者がいました。当時の教育委員会のなかで、早急に対策を講じなければということで、私に声がかかったんです。私は12、13年前にスクー

ルカウンセラーとして3年ほど川口にいたことがありました。そのご縁で川口市に呼ばれました。

教職員メンタルヘルスカウンセラーと他の心理職との相違点としては、スクールカウンセラーまたはスクールソーシャルワーカーは子どもおよび保護者を対象にしていますが、教職員に特化していることが特徴です。

もう一つの特徴は、病氣にならないための予防的な対策が中心だということですね。従来は病氣になってからの対応、いわゆる対症療法でした。それも大事ですが、現在、精神疾患を理由とする休職者数は高止まりで、早期発見・早期治療（第二次予防）を含め、病氣にならないように予防的な対策（第一次予防）を講じることが緊急の課題となっています。教育現場自体が自分たちで予防策を講じていく、しかも現行の教育システムのままである対策として、教職員メンタルヘルスカウンセラーの活動が始まりました。

午前中はおもに管理職の面接です。管理職に面接を受けていただき、「この人なら安心して学校の教員を任せられる」と思ってもらうことが第一関門です。管理職にとっても、第三者として、現場を

よく知るものとして、そしてプロのカウンセラーとして、話しやすいようです。午後は、子どもが帰った後に、教員との面談をします。その際には、何も問題を持っていない一般の教員との「雑談」も大切になっています。その理由は、その雑談の中に「休職予備軍」が潜んでいることもあるからです。また、私と面談をすることを同僚に知られたくないという方のために、問題を抱えていない教員の中にさりげなく混ぜて面接するという配慮もしています。

なぜ、心の病が 増えているのか

先生たちは、子どもと関わることにやりがいを感じているんです。自分のやりたいことができれば、多少忙しくても元気に働くことができます。でも実際は、教育行政からおりてくるアンケートや調査、報告書などで「やらなければならぬ仕事」が優先され、自分のやりたい仕事のために十分な時間が取れない状態です。子どもに関わることをやりたいと思っ

なストレス源の一つになっていると思います。しかも上から新しい仕組みがおりて来ますが、それに伴う予算的配置や人的配置が充分とはいえないので、今以上に先生たちは苦しい立場に追い込まれてしまうことが予想されます。

また、保護者への対応も、年々難しくなっていると思います。親自身が問題を抱えていたり、精神的な疾患を抱えているケースも増えています。それを、一年目の先生が対応するのは、大変だと思えます。いまはSNSなども発達しているので、なにかあれば保護者同士のネットワークで広まってしまいます。

何か問題が発生すると学校は「説明責任」を問われて、その対応にまた膨大な労力が必要になって。今後、さらに保護者の方へ難しい対応を迫られてくると予想されます。そういうなかで、予防的発想は大事になってくると思います。

新学期はじめの

「おもてなし」

教員は一年目から担任をまかされると、それ以降あまり細かいことは教えら

れませんが、もつと一年目の先生への細かい配慮をお願いしたいと思います。医療分野ではプリセプター制度といって、入職3年から5年目の看護師が1年目の看護師の教育係となる制度があります。川口市では今年、このプリセプター制度の教育版である「メンター制度」が全校に導入されました。管理職には言いにくいけれど、年の近いメンター（＝助言者）に相談して、それが管理職にも伝わったということがかなりあり、有効だということが報告されています。

さらにこの制度は、ミドルリーダー養成にも一役買っています。メンターとな

った先生にとっても、人の面倒をみるという経験ができるので、その後、学年主任などになったときに活かせるのです。学年主任になる先生は、学級経営の能力がある人たちですが、学年主任になると、今まで自分がやっていた仕事を人に任せなければならぬ立場になるのです。その能力は、学級経営とは別なんです。

いま、教育現場の年齢構成は、多少の地位差はありますが、50代と20、30代ばかりで、40代が著しく少ないです。地域や保護者対応の矢面に立っていた50代が退職した後に、30代の教員が50代に代わ

って学校の中心になるのは、大変なことだと思います。

それから、もうひとつ、川口市が今年から始めたことがあります。

4月1日は、一年目の先生や他の学校から異動してきた先生、もともと在籍していた先生が初めて一堂に会します。校長先生の話があつて、簡単な自己紹介をすると、学年や分掌ごとに分かれてバラバラになってしまいます。向かい座る先生がどんな人か、まったく分からないまま仕事をしている中から、いつの間にか休職者が発生するのです。

川口市では、校長先生の話が終わったら、「湯のみを持ってきてください」と言つて、小グループに分けて自己紹介から始めるんです。「実は私は〇〇を持っています／〇〇できるんです」というその人の人となりの一部を公開したり、ベテランの先生が教員生活で失敗したことを、若手教員の前で話しています。これが好評で、あとで雑談のきっかけになります。

それから、転勤一年目の教員に対する休転者対策の一つとして、新しく来た先生に対して、「コピー機の使い方」や「モノの在る処」「この仕事は誰に聞いたら

いいの？」ということについて、最初に教えることにしています。

この3つを「おもてなし」と呼んで、今、川口市の全学校に対して実施するようにすすめています。

「お互い様」の精神で

さらに、先生方にお伝えしたいことが2点あります。一つ目は、「担任だけでは子どもを育てられない部分がある」ということです。クラスで問題が発生し、担任と子どもが対立している時、部活などの先生が間をとりにつてくれたりして、うまくいくこともあります。さまざまな先生が関わることで、学校はまわっていくんです。

もう一つは、先生方はさまざまな背景をお持ちだということです。独身で毎日遅くまでバリバリ仕事ができる先生もいれば、子育て中の若い先生や介護を抱えた年配の先生もいます。一番仕事ができる人を基準にすると、結局、犠牲になるのはプライベートルームな部分です。それぞれ事情があつて早く帰らなければならない先生に対して、「いいよな、早く帰れて」というような組織で

はダメなんです。これから先、自分が子育てや介護を抱える可能性もあるわけですから、「お互い様」という気持ちで同僚のことを思いやってほしいです。そのためには、「安心できる仲間のいる学校現場」をつくること、これがメンタル予防の大事なエッセンスの一つだと思います。

勤務の多忙化についていえば、あくまで私見ですが、仕事をするのはせいぜい子どもたちが帰って2時間程度にとどめるのがよいのではないのでしょうか。それ以上は次の日に影響してしまうから。プロフェッショナルの働き方としては、再考してほしいです。現場の仕事量はもう限界です。その対策の一つとしては、もつと専門家を学校に入れる必要があると思います。そして、先生はできるだけ授業やその準備に集中する。一人の先生に、これ以上いくつもの専門性を求めると、つぶれてしまいます。

平日は早朝から深夜まで仕事して土日は部活、そんな生活をしていると、他の世界の人に触れる機会もないし、世の中からスポイル（取り残される）されてしまいます。その現実には、目を背けちゃダメです。

今は、「子どもが好き」「教えることが好き」だけでは、教員をやつていけない時代です。ライフスタイルを、考えなおす必要

があります。オフは身体を休めるだけになりがちですが、オフの楽しみのために仕事をがんばる。教員である前に人間として、もつと豊かな生活を送つていなければ、子どもにいい影響がいくはずがないんです。

新任の先生たちには、「意識して外の世界の人と接してください」「もつと本を読んでもください」と言いたい。そして今しかできないことです。分らないことは聞いてください。そして、1年目は、よいクラスを、などと欲張らないで、1年間休まず勤めることを目標にしてほしいと思います。

書籍紹介

土井一博 著
学校を巡る
メンタルヘルス
カウンセラー
教職員の「心の病」
予防システム

1,500円+税
きょういくネット
2013/01



お疲れさま 新たに教職員になられたみなさんへ

信頼できる大人との出会いの場に

埼玉大学教育学部教員 田代 美江子

今、私は、研究活動の一環で、学校現場の先生方と共同して、公立中学校での性教育の授業づくりをしています。仮にどんぐり中としておきましょう。どんぐり中は、経済的に厳しい家庭が多く、学力面でも問題を抱えた子どもたちが少なくありません。思うようにならないと暴力をふるってしまう子どももいます。子どもの背景にある家族の状況も厳しく、「血のつながった」両親と子どもといった家族はクラスの半数以下かもしれないくらい状況です。中には、両親ともにおらず、祖父母に育てられている子どもたちもいます。もしかしたら、同じような学校で教員の仕事をスタートさせた方もいらっしゃるかもしれませんね。

家族の貧困がダイレクトに子どもに影響してしまう社会の中で、子どもたちの行き場のない怒りややるせない気持ち、授業での態度や暴力にも表れているような気がします。そういった子どもたちに毎日対峙しなければならぬとき、先生方もやるせない気持ちになっていくかもしれません。それでも、子どもたちが学校に来てくれることは希望だと感じています。多くの問題を抱える子どもたちに向き合う時、先生方が傷つけられることもあります。それでも、管理や抑圧ではなく、子どもの人権を大切にしようとする先生方の取り組み姿勢こそが、子どもたちを変えられるのだと、どんぐり中の子どもたちを見てると確信させてくれます。私は、ほんの少し学校に関わっているだけです。それでも、子どもたちや学校の変化を感じることができそうですし、先生を通じて、卒業生からのうれしい便りに触れることもできます。どんぐり中は、子どもたちが信頼できるおとなと出会える場になっているのだと思うのです。

こうした体験を共有させてくれる先生方とのつながりは、教育学部で教える立場にある私にとって大切な「宝物」です。私にとって信頼できる先生が現場にいてくれることが、安心して卒業生を送り出すことができる基盤となるからです。

新たに教職に就かれた皆さんは、新任研修に追われる中、子どもたちと過ごす時間が十分にとれなかったり、準備不足で子どもたちに「すまないな」と思いながら授業をすることがあったかもしれませんね。子どもたちと向き合う仕事は、楽しいことがたくさんある一方で、でも、もしかしたら、毎日「やめてやる」と思いながら過ごしている人もいるかもしれません。

でもとにかく、学校現場には、私にとって「宝物」と思える、ステキな先生方がたくさんいらっしゃいます。学校内はもちろん、学校をこえて、そんなステキな先生を探してつながっていくください。そして、皆さん自身が、子どもにとって信頼できるおとなとして、子どもに関わっていくってほしいと願っています。私の「宝物」が増えますように！

問題が起きたっていい。 問題が起きた方がいい?!

志木市立志木中学校 深津 冬惟

私は公立中学校に勤めて四年目を迎えます。現在は二年生の担任をしています。

つい先日、二泊三日の宿泊学習へ行ってきました。私のクラスは元気な子が多く、授業中も度が過ぎて、先生方に注意されているようなクラスですが、みんなが根っこに優しい心を持っている大好きなクラスです。そんなクラスで、宿泊学習中に持つて来てはいけないお菓子が見つかりました。まさか自分のクラスで起きてしまうなんて……。とてもショックでした。怒りがこみあげてきました。これで宿泊学習は台無しだ!と思っていました。

お菓子を食べたことが分かったその日の夜。生徒たちの実行委員会で、お菓子を持つて来て十人以上が食べるという事件が三組（私のクラス）であったと報告されました。三組の実行委員の二人は、何も知らなかったの、驚き、今にも泣きだしそうなどころを我慢しているようでした。

実行委員会の後、クラス会議がありました。他のクラスは、その日を楽しく振り返り明日への反省を出し合う時間ですが、三組だけは会議が始まる前から多くの生徒が下を向いていました。「これからクラス会議を始めます。まず報告があります。」そう実行委員が切りだし、お菓子のことが報告されました。誰も動かずじっと下を向いていました。次の瞬間、下を向いている生徒たちがびっくりして顔を上げました。「今回、こんなことになってしまつて、こんなクラスにして、ごめんなさい」と実行委員の二人が謝ったからです。すると、「実行委員は悪くないです。ほくがお菓子を持つて来て、配つて、食べてしまいました。すみませんでした。」「ほくももらつて食べました。すみませんでした。」「わたしも……」と、次々にお菓子を食べた生徒たちが前に出てクラスに謝り始めました。それを後ろで見ていた私は、嬉しくてホッとしました。

実はクラス会議の前に、お菓子を食べた生徒たちで集まり、明日から絶対いい生活をして挽回しようと話し合っていたそうです。次の日、かれらは誰よりも集場所に早く集まり、掃除をいつも以上に真剣にするなど笑つてしまうほど真面目でした。

担任するクラスでは、必ず問題が起きます。しかし、それは生徒たちが成長するチャンスであり、それを、番近くで見られる特等席が先生（担任）なんだと思います。問題が起きたっていいじゃないか。問題が起きた方がいいじゃないか!



頑張らなくていいですよ

埼玉県立所沢高等学校 土方 真知

教師としての第一歩を踏み出した昨年、私は授業の際、誰よりも早く職員室を飛び出して、板書に慣れず、事前に必要なことを書いておかなければと、気持ちはいつも急いでいた。ある日、いつもどおり予鈴も待たず職員室を飛び出すと、あるベテランの先生に声をかけられた。「いつも早いですねえ」。はい、準備が間に合わなくて。「そんなに頑張らなくていいですよ」……はあ。そうは言われても古典の授業で板書は多く、私はそれ以降もいの一歩に職員室を飛び出していた。

あの先生の言葉の意味が今ならわかる。授業準備に追われていた昨年、私はその日の授業をこなすことで手いっぱいだった。思い返せばあの授業準備は、生徒のためというより私自身のためであったのだろう。他の先生と遜色ない授業をしなればと必死になっていた私の後ろ姿に、生徒たちは何を感じ取ったのだろうか。好意的に受け取ってくれる生徒もいた。その一方で「ま

だ休み時間なのに」とほやく生徒もいた。自分の必死さを全て否定したいわけではない。だが今の学校現場では、生徒も教師もとにかく忙しい。そこで「頑張らなくていい」と言ってくれる大人がいること、「余裕」のある教師でいること、それは教師に

とつても生徒にとつても大きなことだったのだ。

だから、私から初任者の先生方へのメッセージはたった一言。「頑張らなくていいですよ」。



(写真は本文と関係ありません)

心豊かに、ゆとりをもって

上尾かしの木特別支援学校 芝崎 俊貴

私は、今年度6月から来年3月末までの10カ月間、男性として育児休業を取得しています。「子どもができたら育児をとる!」

というのは私の夢であり、父となるうえでの信念でもありました。2010年度より、育児休業は夫婦同時であっても取得でき、休業手当金も父母どちらかではなく、それぞれ1年間は給付されるようになりました。夫婦2人で子どもの成長をゆつくりと見届けられるチャンスです。

それまでの私の働き方といえば、家庭をかえりみずに、がむしゃらに仕事と組合の業務をこなしている毎日でした。年々増えていく責任と仕事量に、ため息がでることも多くありました。

しかし、子どもが産まれてから休業に入るまでの3週間、なにがなんでも職場をあるという強い意識に変わり、18時には職場をあがっていました。もちろん、周りの先生方の理解と協力があつてこそできたことです。育休中の生活はというと、専業主

夫の生活を満喫し、家事・食事・育児で充実感いっぱいです。我が子にたつぷりと愛情を注ぐことができています。

学校現場は、多忙化に拍車がかかっており、先が見えず、仕事は貯まるばかりで、精神的に苦しい状況にいる方も、少なくないのではないのでしょうか？

豊かな教育を行なうためには、研修や教材研究も必要ですが、教師自身が、心の豊かさや、ゆとりを失わずに過ごせることが何よりも大切です。抜本的な超過勤務の解消を求めていくと共に、息抜きやリフレッシュできることを探すことや、それを共有できる仲間やパートナーを見つけることも、教師として豊かに生きることにつながると思います。



(写真は本文と関係ありません)

「フレッシュ値」と「経験値」

蔵市立東小学校養護教諭 佐藤 裕子

子どもたちへの熱い思いを胸に、初めて先生になったみなさんにとって、現場はどのように見えますか。

私が初めて勤めた小学校は、児童数1300人の大規模で、養護教諭は1人でした。健診がスムーズにいかないとすぐ「帰る」と言う学校医がいたり、病人けが人が押し寄せたり、引継ぎがなかったため、一つ一つの仕事が不安でした。そんな私を、いつも担任外の先生達が気にかけて、声をかけてくれました。その先生に「子どもがいっぱい来て仕事ができない」と私が愚痴をこぼすと、「子どもたちと接することこそ、あなたの仕事でしょ」と諭されたことをよく覚えています。

経験を積むにつれて、相談されることが多くなり、その度に「今の養護教諭は完璧さを求められているみたいで大変。もっとゆっくり先生になってもいいの」と思います。先日、若い養護教諭から「困難を抱える家庭で、重症アレルギーの子ども」に

ついての悩みを聞きました。養護教諭のその子どもに対する思いと不安、それも命を脅かしかねないのではという恐れの「感覚」を聞いて、安全体制の配慮のみならず、要保護児童対策地域協議会への働きかけや、学校の誰にどのように働きかけたらよいかを話しながら「あなたの不安や恐れは、絶対合っていると思う。経験を積み、ある程度まちがわずに、救急処置も子どもや親への対応もできるかもしれない。でも若いからこそ、まだ教職経験が少ないからこそ、見えるもの、気づくものがある。その感覚を大事にして」と言いました。

私が忘れられない子どもとの出会いは、勤めて間もない頃でした。その子どもについて、担任も管理職も気にはかけていたが、私の感覚は不安を通り越して恐れに近かったのです。とても心配で、友達に電話をしたり、教頭や同僚に訴えたりしました。しかし、組織的に動くことなく、私の思いが経験不足による取り越し苦労にさえ

みえました。一年後、やっとその子どもの笑顔が見られ、私がほっと胸をなでおろした矢先、それは事件として最悪の形で起き、もう二度とその子どもとは会えなくなりました。私は後悔し、たくさんの涙と眠れない日々をすごしました。

経験が少ないからこそ見える、フレッシュな感覚「フレッシュ値」は必ずあります。そのフレッシュ値と私たち世代の経験値（いっぱい相談してください）が融合することが、これからの教育の強みになると期待します。



先生の「ひとこと」は 伏流水となつて人生に響くかも

菊池 陽子

「一介の主婦、2階で昼寝のおばさん」ではない私ですが、ひるねのおばさんをはるかに超えた深い人生を送ってきた感じがします。

それは多分、先生と呼ばれる方をはじめ、多くの方々のめぐりあいと、その「ひとこと」に出あったからこそです。

現代を生きる皆さんには昔の話ですが、苦しい戦争が終わり、新しい憲法ができ、はやはやの教育基本法のもとで第一期生として小学校時代を過ごした私ですが、先生方はみんな昔の教育勅語のもとに教鞭をとられていた方ばかりです。さて新しい時代の子どもたちに何をどのように教えたらいいものか大きな悩みの中にあつたと思います。

「みなさん、私たちにはおめめが2つあるでしょ。これって、いろんなことをよく見るためだと思うよ。おみもも2つあるでしょ。これって人のいうことをよくき

いてねつてこと。で、おくちは？ひとつだよね。いろんなことをよく見て、人の意見もよく聞いて、せっかく頭があるんだから頭に入ってきたことを、自分でよく考えて、間違つてもいいから、自分の考えをこのお口を使つてはつきり言つていいんだよ」と教えてもらえたのです。

これが私の一生忘れない大事なひとこと——言葉として、生き方の原点となりました。また、まだまだ食べ物が潤沢でない時代、もちろん給食もなく、ふかしたサツマイモを弁当に持つて来られる子はいい方。何も食べるものがない子は校庭に出て、次の授業時間まで鉄棒にぶら下がっていました。脳裏に焼きつく悲しい印象です。

そんな時代「平和」という字は、誰の口にも食物が平らかにあること」と教えられたのも忘れえぬ先生の言葉です。これも私の大きな原点です。

さて、子育て時代に出会った先生の言葉も忘れられません。息子は3月生まれでしたので何をやるにもトロクテイライラしていたのですが「お母さん、大器晩成と愚図とは違うんですよ」と担任の女先生のキツイお言葉。いや、そりゃあそうかもと思いつながら、大器はどうあれ晩成を信じてあげたい母でした。

別の科学系の先生は、昆虫の写生の時間変な絵をかく息子に対して「お母さん、何？これ。つて叱らないでくださいね」と。みんなと違うことを見つけて画いたかもしれないのに、何？これ。と言いたくなるのが親の常。が、その先生の言葉に出あい、だれもが個々のすばらしさを持ち合わせているものなんだということをガツンと知らされたものです。ちなみに愚図な息子は、理科の教科書をつくる編集者になりました。

小・中・高校とは人生の生きる基本をつくる大事な時期。教科だけでなく、「忘れられない言葉」を持つ先生になってくださることを願っています。

教えて！

私たち教職員の権利

作成／全教生活権利・法制局

2016

「クレスコ」4月号より転載

採用1年目から権利は保障されます

条件附採用

Q 採用1年目ですが、条件附採用期間にも、教職員としての権利は保障されますか？

A もちろんです。教職員の権利は、教育を充実させ、教職員の身分を安定させるためにあります。

公立学校に採用された教職員（教諭、養護教諭、栄養教諭など）は、1年間は条件附採用とされ、1年経過後に正式採用になります。しかし、条件附採用の期間も、地方公務員法や都道府県の勤務条例は、ほぼ全面適用になります。したがって、年次有給休暇や病気休暇などの特別休暇、産休や育児休業も当然のこととして認められます。ただし、病気が長期化した場合に措置される「休職」は適用除外になりますから、注意が必要です。

関わる法律 教育公務員特例法第12条

1日のうち45分は休憩時間が取れます

休憩時間

Q 教職員にも休憩時間はあるのでしょうか？

A あります。使用者が勤務時間の途中に与えなければならないことが、法律で定められています。

1日の勤務時間が6時間を超える場合には45分、8時間を超える場合には1時間を、勤務時間の途中に保障するのが校長の責任です。休憩時間は勤務時間には含まれます、本人が自由に使える時間です。職場を離れることも可能です。

関わる法律 労働基準法第34条

1日7時間45分・1週38時間45分

勤務時間

Q 教員も時間外勤務を命じられることがありますか？

A 原則として、「限定4項目」以外には命じられないことになっています。

勤務時間は、休憩時間を除き1日について7時間45分、1週間38時間45分です。

公立学校の教職員を正規の勤務時間を超えて勤務させるのは、次の4項目（限定4項目）に該当し、かつ、臨時または緊急にやむを得ないときに限られます。

- ① 校外実習その他生徒の実習に関する業務
- ② 修学旅行その他学校の行事に関する業務
- ③ 職員会議に関する業務
- ④ 非常災害の場合、児童又は生徒の指導に関し緊急の措置を必要とする場合その他やむを得ない場合に必要業務

しかし、現実には長時間に及ぶ時間外勤務の実態があります。全教は、教職員定数の抜本的な改善とともに、「公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の改正をめざして運動を進めています。

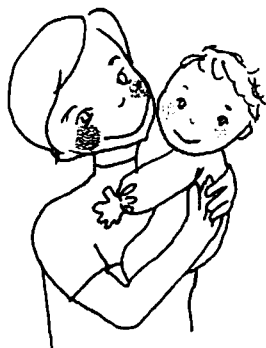
なお、週休日（土日）に勤務した場合には、「前4週、後8週」などの期間内で振替ができます（都道府県により異なる）。

関わる法律 給特法第6条

病 気

◆病気休暇

病気休暇は、90日まで有給で取得可。



子 育 て

◆育児休業

子どもが3歳に達する日まで取得可能（男性も可）

◆子育て休暇

子ども1人の場合7日、2人以上は10日取得可。子どものけがや病気の看護、学校行事が対象。

介 護

◆介護休暇

病気、負傷、老齢などにより2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をおこなうための休暇。1つの継続する状態ごとに6月の期間内

※範囲／配偶者、父母、子、配偶者の父母、祖父母、孫、兄弟姉妹、事実上の父母や子



一人で悩まず、仲間に相談を

職場のいじめ、パワハラ、セクハラ

048 (824) 2511 埼玉県教職員組合

048 (822) 7421 埼玉県高等学校教職員組合

生き生きと働きたい

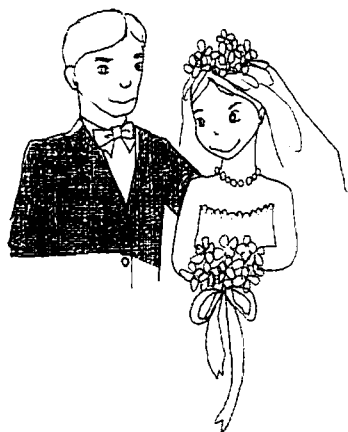
働く

◆年次有給休暇

すべての教職員

◆生理休暇

1回の生理につき2～3日
(電話で伝えるだけでもOK)



結婚

◆結婚休暇

結婚生活に入るための諸行事をおこなうために5～7日の休暇

妊娠

◆通院休暇

妊娠中および産後1年以内に、保健指導・検診審査を受けるための休暇

◆通勤緩和休暇

妊娠中、母体の健康維持をはかるために、一日1時間以内の勤務時間の繰り上げ・繰り下げができる



出産

◆出産休暇

労基法では産前6週(多胎児14週)、産後8週。2週間の加算があります。

◆出産補助休暇

配偶者の出産にあたり、夫である男性教職員に2～3日の範囲で認められる

「平和の俳句」によってつながる思い

戦争を知る 100 歳と交流する中学生

川口市立戸塚中 佐藤英子

東京新聞の朝刊一面に「平和の俳句」が掲載されているのをご存知でしょうか。2015年の1月に始まったのですが、1月3日に掲載された次の一句が私の心をとらえました。

〈一票は銃弾より重し八っ手花〉

そして1月9日には、作者である98歳の近吉さんのインタビュー記事が掲載されました。体重不足のため入営はしなかったけれど、戦場では戦艦大和の砲弾や自爆艇を作っていたことなどが書かれていました。早速感想を書いて、はがきを送りました。住所は一部しか書かれていませんでしたが、郵便屋さんが届けてくれました。

「平和の俳句」
近吉さんのインタビュー記事

岐路の覚悟 毅然と



● 近吉 三男さん(98) 写真

「平和の俳句」は、戦時中、東京で暮らしていた近吉三男さんが、戦場の経験から書かれた。戦時中、東京で暮らしていた近吉三男さんは、戦場の経験から書かれた。戦時中、東京で暮らしていた近吉三男さんは、戦場の経験から書かれた。

近吉さんのインタビュー記事

生徒とともに学んだ戦争

4月になり、3学年の1クラスの社会科を担当することになりました。そこで考え

たのは、生徒の疑問から始まる授業をしたということでした。

第一次世界大戦の学習に入る前に、「戦争の何が知りたいか」を書いてもらいました。①兵士は何を食べていたのか、どんなことをしていたのかなど、兵士の日常生活について②兵士の遺体の収容、無事に爆れる確率、反対する兵士はいないのかなど③原爆がなぜ広島、長崎に落とされたのか、近くにいた人はどうなったのか。他にもたくさん質問がありました。生徒はよく考えていると思いました。

命のあまりの軽さを知る

8月の全国教研のオープニングで人間魚雷「回天」を題材にした劇をみました。授業で「回天」の画像を見せた後、劇の主人公が「回天」に乗り組んで発射するまでの動作を行う訓練のセリフを読み上げました。1分以内でできるようにする訓練です。この感想も簡単に書いてもらいました。

①写真を見た時は良く分からなかったけど、話を聞いてとても怖くなりました。戦時中では、勝利することが目的になっており兵士はその計画を動かすための歯車として扱われているのが良く分かりました。自分の死と笑顔で向き合う人たちは一

体どんな思いがあったのでしょうか。ある意味宗教のような気がしました。②人が爆弾の機械にはいり、操縦するものだと思つた時はすごい発想だと思いました。人が戦争で亡くなることは当たり前のような基準の考えで同じ人間としてありえないと思ひました。(略)

わずか15分くらい、画像を見せて、訓練の様子を説明しただけですが、このような感想を書いてくれました。その時に、戦艦大和の自爆艇というものを作っていた近吉さんに直接話を聞いてみたいという気持ちが高まってきました。

生徒に手紙を書いてもらう

9月に近吉さんの俳句が二度目の入選をしました。99歳になつていました。冬休みに会いに行くことに決め、生徒に100歳をお祝いする手紙を書いてもらいました。1月9日の記事を簡単に紹介しましたが、10人もの生徒が家で書いてきてくれました。

その中に「戦争で命の奪い合いに燃えている日本をどう思いましたか。」という生徒ならではの鋭い質問がありました。その質問と以前生徒に書いてもらった、「戦争について知りたいこと」を先に手紙で送っ

ておきました。



近吉さんへの生徒の手紙

御達者な近吉さんの話

お会いしてから3時間くらい、近吉さんはいろいろなことをお話してくださいました。貧しくて小学校しか行っていないけれど、先生がかわいがってくれたこと、K製作所に就職し副班長を務めたこと、野球の試合で肋骨を骨折し、召集を免れたこと、自爆艇の設計について質問をするため呉に行ったこと、その質問とは自爆艇のスクリーンの軸受の設計についてであること、戦後GHQの指令で労働組合が作られ、労働運動のろの字も知らないのに組合の委員長になったこと、その後逆コースで職場を追放されたこと、自分で会社を立ち上げた

ことなど、興味深く、よく覚えていらつしやると思うことばかりでした。

そして、生徒の質問については「日々の生活に追い回されて、食べることに精いっぱいだった。」との答えでした。

近吉さんから生徒たちへの手紙

行つてきた報告をするために、クラス全員を対象にお手紙を書いてほしいことをお願いしました。2月に届いた手紙は、全部で原稿用紙4枚にもなるお手紙で、難しいところもあるので、私が読み上げて説明しました。そして、生徒に返事を書いてもらいました。

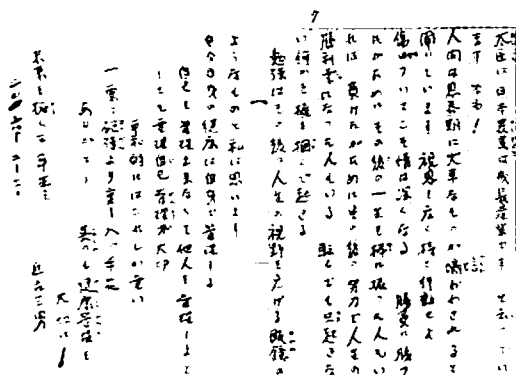
近吉さんの手紙の中に「頭の隅に疑念を持ちながら、なぜ止められなかったのか、現在振り返つて思えば、日々の生活に追い回されて、食べることに精いっぱい、世界の情勢を考える余裕がなかったのです。」「赤紙をもらいながら出征できず恥ずかしい思いでした。」「情報を手に入れている一部の人は、負け戦と思つていても、それを表面に出せば有無をいわせず逮捕投獄されるので保身のために権力に従つたのです。」と書いてありました。

そして、その手紙の最後には「負けたがために、その後の努力によって人生の勝利

者となる」や「勉強はその後の人生の視野を広げる眼鏡のようなもの」といった人生の達人としての言葉が書かれていました。手紙を読んだ生徒たちは、近吉さんが出征できないことを恥ずかしく思う気持ちに驚いていました。また、野球部の生徒はこのポジションだったのだろうなど共感しながら聞いていました。

生徒たちから近吉さんへの手紙

生徒たちは、近吉さんの手紙を読んで、



近吉さんから生徒たちへの手紙

それぞれ感じたことをそれぞれの言葉で書いてくれました。公立高校の受験日はこれからだというときです。

生徒たちからの手紙を送った時、近吉さんは食べ物気管に入り入院していました。その手紙にすいぶん元気づけられたと後からおっしゃってくださいました。

交流から発信へ

同じころ、私は「教室で百歳言祝ぐ平和かな」という句を、東京新聞に投稿しました。そこに、近吉さんと生徒の手紙のやり取りがあったことを書きました。3月上旬に東京新聞の記者さんから取材の申し込みのお電話がありました。学校長も了解のうえ、取材ができたのは卒業式の前日でした。果たして何人が協力してくれるか心配しましたが、男女合わせて7人もの生徒が来てくれました。そして、自分が思ったこと感じたことを声に出してくれました。

「戦時中でも戦争に疑問を持つている人たちがいたんだ。」「真実を伝えて、そこから国民全体が考えるべきだと思います。」

取材には来られなくても、「近吉さんのやり取りを通して、戦争について自分なりに調べていこうと思う。」と書いてくれた生徒が何人もいました。また、「過去の

日本を知る近吉さんから学んだことを発信することが、日本の平和への一番の近道だと思います。」と書いてくれた生徒もいました。

「知ること」「考えること」「交流すること」「発信すること」を、誰でも、どこでも、少しでも続けることが、平和を作ることだと私は思います。



東京新聞3月28日

生徒たちの俳句

戦争をなくすためには武器捨てよ
手をつなぎ伝わる温度は平和の証
心から笑えることこそ平和かな
本一冊ペン一本の平和かな
爆撃機鬼より怖い悪魔かな



弁護士
小林哲彦

はじめに

社会に出る君たちのための
「社会人講座」

私は、埼玉弁護士会所属の弁護士で小林哲彦と申します。現在はさいたま市内の弁護士事務所です。現在、生活困窮者支援や学校での講義などの活動を行っております。今回は、高等学校における「社会人講座」の取組みについて執筆する機会をいただきましたので、埼玉県立秩父農工科学高等学校での「社会人講座」の体験を中心に、「社会人講座」の意義と役割・主な内容・注意点などについて、述べさせていただきます。

私は、埼玉県立秩父農工科学高等学校の進路指導担当の説田三佐子先生のご尽力により、2011年から2015年の5年間にわたり毎年12月末に、同校の3年生全員を対象に、「社会に出る君たちのために」というタイトルで、労働問題や消費者問題に関する講義を内容とする「社会人講座」を担当させていただいています。同講座では、目頃から生活困窮者支援の活動でお世話話になっている白鳥勲先生（さいたま教育

文化研究所副所長・彩の国教育支援ネット
ワーク代表）の紹介の下に、説田先生が企
画して実現したのですが、第一部が卒業
生3名による報告、第二部が私の講義、第
三部が卒業生3名と私に対する質疑応答で
構成され、有り難いことに、毎年3年生
や先生方の好評を博していると聞いており
ます。

卒業前に「肌着一枚」

「社会人講座」の意義と役割は、白鳥先生のお言葉を借りれば、「高校生に肌着一枚着て社会に出てもらう」ということに尽きると思われます。ご存知のとおり、日本における初等・中等・高等教育は、「学力」の仕組みと現状、及び労働者や国民の権利などの生きていくために必要な知識・知恵を十分に教えているとは言えないのが現実です。そのような中で、高校生が無防備なままに社会に放り出されるとすれば、「ブラック企業」や悪徳業者の餌食になってしまふことが容易に想像できます。「社会人講座」は、単発かつ短時間ですが、普段の授業内容を補充し、社会に出る高校生に対し、困った時に自分を守る「肌着一枚」を提供する機会として、極めて重要な役割を

果たしていると評価できます。

働く者の権利を中心に

私は、埼玉原立秩父農工科学高等学校での「社会人講座」において、高校三年生に対し、労働者の権利を中心に講義をさせていただいていますが、その他に、日本社会の現状・日本国憲法における権利・社会保障の制度・賢い消費者になるための心得・社会人としての礼儀などを話させていただいています。1時間10分程度の限られた時間の中では、伝えたいことを全て話すのは困難であり、特に一昨年の講義では、憲法と生活保護の話をし過ぎてしまい、バランスを失ってしまったのですが、昨年の講義では、説田先生からの貴重なご助言の下に、労働者の権利を中心としたメリハリのある本来の姿に戻れたと自己評価しています。なお、私の講義は、第一部での卒業生の体験発表や講義中の演劇部員の寸劇に大いに助けられている面があることは否定できません。卒業生たちの厳しい現実の話が身染みるからこそ、また楽しい寸劇で一息つけるからこそ、私の「小難しい理屈」を聞いていただけるのであり、この場をお借りして、ご一緒させていただいた卒業生や演劇部員の皆様方に感謝の言葉を述べたいと

思います。

「社会人講座」の注意点

私の限られた経験の範囲ですが、以下のような注意点を挙げたいと思います。

(1) 生徒の目線で物事を考える

多くの生徒は、学校の先生や弁護士について「自分とは違う頭のいいエリート」と見ています。ですから、私たちと彼(女)の間には見えない壁があるのが通常で、私たちの言葉は、普通感覚で述べられただけでは、彼(女)らの心に響きません。そればかりか、彼(女)は、多感な時期にあり、コンプレックスを持っていることも多いため、何気ない上から目線の言動や態度が彼(女)を傷つけてしまうこともありま

す。そこで、「生徒の目線で物事を考える」ことが一番大切な心得だと思われませんが、私の場合は、「社会人講座」に臨む際に、「生徒全員の事前の質問事項全部に対して丁寧な書面で回答する」ということを必ず実践しています。このような作業は、時間のかかる煩雑なものです。丁寧な回答が質問をしてきた1人1人の生徒の心に必ず届いているものと確信しています。私は、当日

(2) 理想と現実の間のバランスをとる

私の講義の大半は、労働者の権利などの「あるべき姿」に関するものになりますが、現実社会と私の話との間には、ギャップがあるのも事実です。例えば、私の話を突き詰めていくと、労働法規に違反する事象は全て是正されるべきということになるでしょうが、多くの生徒の就職先である埼玉県内の中小企業が労働法規を完全に順守しているかは極めて疑問です。このような場合に、生徒に対して「立ち上がって自ら違法を是正しなさい」と命じるのは簡単ですが、学校経由で得た就職先を失うことのデメリットの大きさに照らすと、労働法規の不順守の程度によつては、ある程度は社会に順応していく方が彼(女)らにとって良い結果になることが多いと思われます。そこで、私は、講義の中で、労働者の権利などを強調する一方で、社会人としての礼儀やマナーなども伝えるようにしています。また、現実の社会を知るうえでは、卒業生の「生の」体験談は、プログラムに欠かせないものです。私のことを「裏表のある大

人」と思われる方もいるかと存じますが、社会に出ることの恐怖を感じている生徒に講義をする際には、「理想と現実のバランスとる」ことが極めて重要であると感じています。



(3) 教育の中立性に配慮しながらも

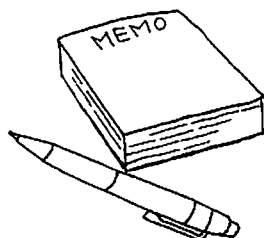
自分の意見を言う

私の講義は、内容面において、社会問題や政治問題と密接に関わってきますから、教育の中立性との問題は避けて通れません。この点、私は、社会的ないしは政治的に意見の分かれる問題については、複数の意見を紹介したうえで、自分の意見を言い、生徒自身の判断で考えてもらうようにしています。教育の中立性は、それ自体は重要なものかもしれませんが、過度に強調されると、中身のない意味不明な講義になってしまう可能性があることは否定できません。そこで、「社会人講座」においては、「教育の中立性に配慮しながらも自分の意見を言う」という点が大切だと実感しています。

人と人との関わり合い

私は、講義の中で、生徒に対し、「人を大切にすれば、人から大切にされる」と強調していますが、このことは、家族関係・友人関係・職場関係だけではなく、先生と生徒の間にも当てはまります。「1人1人の生徒を大切にすれば、1人1人の生徒から大切にされる」という言葉を再確認して、

今後も「社会人講座」に携わっていければと考えています。



鴻巣市の学校統廃合問題と

小中一貫教育

根岸 貴美恵 (鴻巣の教育を考える会
準備会世話人)

6月5日、鴻巣の教育を考える会準備会は、コスモスふきあげ館にて山本由美先生（和光大学教授）を招いて「学校統廃合と小中一貫教育を考える」講演会を行いました。

午後からの講演の前に、鴻巣駅に降り立った山本先生は、統廃合対象の小学校を見て回ってくださいました。地場産業を活かした趣のある屋根瓦の造り、花やほたるなどの特色ある学校。中には

140年以上の歴史を刻んでいる学校もあります。該当する学校はいずれも田園地帯に囲まれ、食と産業を支える地域に位置しています。また子どもたちのサッカーや野球の練習に家族総出で応援する姿には、小さい学校の良さが醸し出されていました。山本先生は、「どの地域も疲弊していない。立派に成り立っている」と語っておられました。

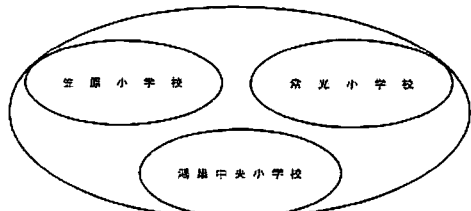
先生は、講演で統廃合の動きは安倍内閣による新自由主義改革の中で出されたもの。地方交付税減額期に入るため、地方自治体は補助金をめあてにしていると指摘。「鴻巣の統廃合に道理がなく、地域コミュニケーションを壊すもの。統廃合は子どもにとってどうあるべきという視点で考えるもので、行政の都合でこんなうものでない」と強調されました。

鴻巣市は、昨年合併10周年を迎えました。2005年、当時、旧鴻巣市（約85000人）旧吹上町（約28000人）旧川里町（約8000人）の一市二町が合併し、約12万人の新市が誕生しました。

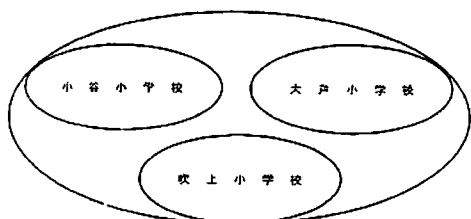
私は川里地域に住んでいますが、合併により県内一安い保育料や手厚い長寿祝い金支給も変更になるなど、サービスが

小学校の適正配置

笠原小学校・常光小学校・鴻巣中央小学校

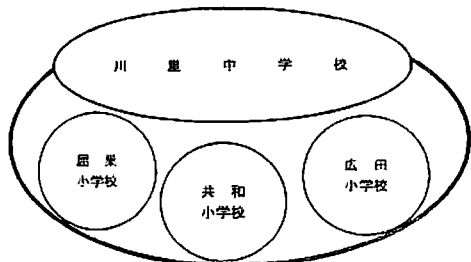


吹上小学校・小谷小学校・大戸小学校



小中一貫教育の推進

川里中学校と連携した小中一貫教育の推進
（島果小学校・共和小学校・広田小学校）



[鴻巣市教育委員会作成]

低下しました。また3ヶ所あった公民館は1ヶ所に。こんどは学校をなくすのでしょうか。

国（総務省）は、2014年から「公共施設適正配置総合計画」の策定を合併自治体に集中して求め、学校を含む公共施設の統廃合を促しています。

15年3月、鴻巣市教育委員会は「小中学校の適正規模及び適正配置に関する考



え方」を発表しました。さらに8月「小中学校適正配置等審議会」を設け、諮問しています。諮問事項は①通学区域の見直しについて ②小中一貫教育について ③小学校の適正配置について です。諮問理由は、児童数の減少による学校の規模は、さまざまな影響を与えることが考えられる。そのため市内どの学校でも、一定の水準の教育を行うことが義務教育であることを前提に、学校規模や配置による格差を少なくすることが課題である、としています。

私たちが、1回目の学習会を実施したのが、今年1月15日です。さいたま教育文化研究所の山内芳衛先生が、統廃合の現状とねらい、適正規模とは、小中一貫教育とは等、ていねいに語っていただきました。山内先生の学習会は地域を変えて、2回、3回と続きました。

学習が力になり、地域によっては、「学校を守る会」が結成されるに至りました。この地域は、保護者や住民を対象に市の適正配置審議会主催の意見交換会が2回実施されました。

ところが、吹上、川里地域の住民説明会は一度も実施されていません。学校評議員や一貫教育推進委員に対しての説明

だけですませようとしています。PTAや住民の中にも「説明会の実施」を求める声もあがっています。

なぜ、川里地域だけが小中一貫教育なのでしょいか。すでに小中一貫教育の取り組みは5年目を迎えています。取り組みのねらいは、「小・中学校の円滑な接続・中一ギャップの解消」であると言われていますが、検証されていないことは文科省の資料でも明らかです。しかし、市は併設型小中一貫校で教育効果を更に高められると考えています。そうであるとするならば、なぜ市内全域で取り組みないのでしょいか。小中一貫校の名の下に川里の3小学校を統廃合するためとしか考えられません。

鴻巣の教育を考える会準備会も、市の動きに対して、性急な結論を出すのではなく、保護者や住民に対して、十分な説明を行うことを求めています。

将来を担う子どもたちが学ぶ学校は、防災・文化・コミュニティ等で地域の核となる大人にとっても関係が深く大切な存在です。まちづくりの観点からも、時間をかけ多くの人の意見を取り入れた、地域に根ざした学校をつくりあげたいと考えています。

3 学校現場で求められる安全衛生の教育

学校は未だ労働安全衛生の施策が著しく立ち遅れおり、劣悪な労働環境・職場環境のために教職員の健康が脅かされています。安全衛生の教育の不足、遅れが要因の一つにあります。

「教育なくして改善の取り組みなし」

安全衛生教育を促進し労働環境・職場環境を改善することはいのちと健康を守る上で不可欠です。

<管理職、教職員のための安全衛生教育>

①労働安全衛生法に関する教育の促進
管理職にとって必須の教育です。

教職員も働き方を見直すうえで重要です。

②安全衛生に関する通知・通達・指針の周知

厚労省、労働局発行の通知、リーフレットは健康管理、安全と健康の取り組みをすすめる上で大変参考になります。

③衛生管理者・衛生推進者への教育

毎年、最新情報に基づく教育を実施します。

④過重労働防止対策の教育

過重労働対策とは長時間労働対策、負担軽減対策で最重点課題となっています。

⑤メンタルヘルス対策の教育（資料 A）

セルフケア、ストレス対処法教育などでメンタルヘルス対策となります。

⑥モラルハラスメント防止のための教育

セクハラ・パワハラ防止の教育で未然防止に役立ちます。

⑦公務災害防止のための教育

ヒヤリハット、リスクアセスメント教育で事故を減少させることができます。

資料 A

ストレスコントロール術

メンタルヘルス不調を予防するには、ストレスを軽減・解消することが大切です。管理監督者は立場上、部下の様子も見なければならぬ上、学校内に相談する相手がいないため、ストレスをため込んでしまいがちです。役員会や教職員会など横のつながりを大切にして愚痴をこぼす相手を見つけるなど、自分に合ったストレス対処法を見つけて上手にストレスコントロールをしましょう。



■ 睡眠時間をしっかりと確保 ■

睡眠不足はメンタルヘルスに多大な悪影響を及ぼします。なるべく毎日の起床・就寝時刻を決めて、どんなに忙しくても一定の睡眠時間を確保するようにしましょう。

■ 伸びをして緊張をほぐす ■

伸びは、脳に酸素を出して副交感神経を働かせることで、心身の緊張をほぐします。1日に何回も伸びをしましょう。特に就寝前の伸びは、ゆっくとした眠りを促します。また、深呼吸することも効果的です。

■ 大声を出してストレス解消 ■

大声を出すことはストレス解消に効果的です。たとえば、1人でカラオケボックスで歌ったり、声を出しながら重ならない紙を破ったりすれば、気持ちがすっきりします。

■ 映画を観て泣き笑い ■

笑ったり泣いたりすると、副交感神経が優位な状態に切り替わり、ストレスを軽減できます。映画を観て、思いっきり泣き、笑いましょう。

■ ぬる湯で入浴してリラックス ■

入浴は心身をリラックスさせます。36〜39度くらいのぬるめのお湯にゆっくりつかれば、副交感神経が興奮されて自律神経が正常になり、二行がよくなり体のこりもやわらぎます。

■ 喜びを楽しむ ■

アロマテラピーなどで香りを楽しむことは、ストレス解消に役立ちます。仕事の合間に匂いを嗅ぐのも気分転換になります。

■ 友人や同僚に愚痴をこぼす ■

気の知れた人や、同じような悩みを持つ人に愚痴を聞いてもらいましょう。本音を話すことはストレス解消に非常に効果があります。

■ 休日は趣味を満喫 ■

休日には好きなことを忘れて趣味を満喫し、気分を切り替えましょう。同じ趣味の人と交流することも効果的です。どうしても仕事が増えてしまえば、「ゆっくり休むことも大切な仕事」だと考えましょう。

Point 考え方を変えてみる

嫌なことがあると、考えの視野が狭くなってしまい、もっと悪くなる傾向があります。そんなときは、考え方を変えてみましょう。たとえば、「失敗してはいけない」は「失敗しても学

べることがある」「あの上司は悪が立つ」は「あの上司がそんな行動をするのはなぜだろう？」など、そうすれば、意外な解決策が見つかることがあります。

⑧熱中症予防のための教育

熱中症から教職員と児童生徒を守ること
に役立ちます。

⑨感染症予防のための教育

インフルエンザ、デング熱、ジカ熱、ノロウイルス等への対策も今日必要な教育となっています。

教職員の健康問題は労働と深く関連しています。今の働き方を考える、見直すうえで安全衛生の教育が大切です。

学校の年間研修計画の中に「教職員安全衛生研修」の柱を設け計画的に安全衛生教育を実施していただきたいと思います。

（次回は「パワハラ問題と対策」）

労安法で学校を変える 健康・安全のための安全衛生教育

産業カウンセラー 杉本 正男

はじめに

労働安全衛生の取り組みで欠かせないのが安全衛生教育です。安全衛生教育が疎かにされると労働者に取り返しのつかない被害が及ぶことがあります。

教育現場では残念ながら管理職、教職員向けの安全衛生教育が十分に実施されていません。その為、健康面で看過できない状況が続いています。

労安法に基づく安全衛生教育の内容について今回紹介します。

1 安全衛生教育の軽視で膀胱がんが多発

福井県で染料・顔料の原料を製造している工場の労働者5人が相次いで膀胱がんを発症するという問題が起きました。

発がん性が指摘されているオルトートルイジンを工場では扱っていましたが、職場環境はガスと粉じんが蔓延し劣悪な職場環境が放置されていました。

有害な化学物質を扱う場合は、事業者には職場責任者と労働者に対し予防のための教育、施設設備の設置を行うことが義務づけられています。

安全衛生教育を怠ると労働者に命に係わる被害を及ぼすことがあります。

2 労安法で求められている安全衛生教育

労安法では、事業者（教育委員会）に対して労働災害を防止する為に、監督者、責任者、労働者への教育を強化し人的な災害要因を除

去するための教育を義務付けています。

安全衛生の教育には法定教育と法定外教育があります。

ここでは紙面の関係で学校に関連する法定教育について触れます。

(1)法定教育

①新規雇い入れ者に対する教育（労安法 59 条の 1）

教育の内容は、担当する仕事に関して客観的に必要とされる程度に具体的なものが求められます。教育委員会や学校での初任研で安全衛生の教育が必要です。

②職長に対する教育（同 60 条）

職長や現場監督者に対し、その職務に必要とされる事項について安全衛生のための教育を義務づけています。

新たに学校長、教頭職に就いた場合、「教職員のための安全衛生の教育」を受けることが必要です。

③安全管理者に対する能力向上教育（同 19 条の 2）

事業者（教育員会）は、衛生管理者や衛生推進者に対し安全衛生の能力の向上を図るための教育を行う義務を負っています。計画的に衛生推進者等を対象にした安全衛生の教育を行う必要があります。

④行政指導に基づく教育

◇石綿除去現場の管理者に対する教育

◇VDT 作業員への教育

◇有機溶剤取り扱い作業員に対する教育

教育相談室の窓

学校を想う

相談員 佐藤とも子

「子どもが私の体をみて、からかうのですよ」と女性が、「孫と担任の先生の相性が悪く不登校にならないか」とお祖母さんの電話がありました。お二人とも県庁の教育相談室に電話をすれば解決できるのではという思いです。

教育相談室は、小学校、中学校、高校、特別支援学級・養護教諭の経験者、臨床心理士が相談を受けています。

相談室を始めて24年。電話相談・面談をしています。相談員は不登校セミナー、教育のつとめ、講演会で学び、それぞれ相談を寄せ合い相談者の声に耳を傾け解決の糸口を一緒に探っています。

昨年、夜間中学のラジオ番組を聞きましたと70代の方が「学生時代、充分勉強ができませんでした。これからでも学びたいのですが」、「孫は体調が悪くて入院しています。体調が良くなったなら話を聞いてください。」と本人、お祖母さんが相談室へ。学び直しの思いの強さに圧倒されました。この方は今、大学の通信教育を始めています。

不登校の子どものお母さんは、「教員に登校する気持ちがあるかを聞かれた。音楽、体育カードと、読んだ本の数をグラフにして学校が息苦しいのです。」と沈んだ声。

「学校スタンダード」なるきまりが様々あります。

○年生ができればならない「スタンダード」は、「はい」と言って「立つ」、「～です」と発表する。机の右に教科書、左はノート、上に筆箱。教科書指導書を忠実に。清掃、給食も「指導の統一」が求められる。「学力向上」の名のもと「過去問対策」中心の授業。

学校で感じる“息苦しさ”は教師の姿勢から自信を失うものです。

15年ほど前、校長から筆箱には鉛筆が○本、おき傘は持ち帰る…の提案がありました。子どもの指導はきまりによらない方が良いとの意見を言いました。授業で、行事で子どもの育つ姿を実感でき教師の確信が深まるそういう学校を望みたい。

いじめ防止法が成立し3年を迎えました。20年、30年前のいじめを昨日の事のように話す相談があります。いじめのトラウマから普通に生きられない理不尽さ、教育現場への怒りの声に背筋が伸びる思いです。

新任の頃、同僚は校舎の造りを指して「教室の位置が廊下より上です。これは子どもを下に見ないという意味があるのですよ」と。教師が子どもを尊ぶ、教育の原点を見る思いでした。



■相談は さいたま教育文化研究所
「教育相談室」へ

■月・水・金 = 10時～16時

■相談は無料・プライバシー保護

■場所 埼玉県庁第1庁舎地階

■直通電話 048-825-2041

県庁から 048-824-2111(内線7791・7792)

ほんと タイム

舞台「あの夏の絵」に出会って

青年劇場 林田 悠佑

私は青年劇場という劇団で俳優をやっています。去年の12月に「あの夏の絵」という作品に出演させて頂きました。

この作品は広島の高校生が被爆者の証言を元にその場面の絵を描くという企画を美術部の先生が持ちかけてくるところから始まります。被爆3世の生徒、父親が自衛隊で働いている生徒、東京から来た原爆を知らない生徒、最初はバラバラだった美術部3人も被爆者の証言を聞いて絵を描いていくことによって団結していき、それぞれの視点で原爆について考えていきます。この企画は実際に広島の基町高校が毎年行っています。それを元にこのお話が作られました。

私は長崎出身です。長崎でも毎年8月になると平和学習が行われます。しかし当時の私は原爆について昔の出来事、今の自分には関係がないと思って無関心に過ごしてきました。

その後、青年劇場に入団して原水爆禁止世界大会に参加する機会を頂き、最初は長崎、次の年に広島に参加しました。長崎の大会の時に久しぶりに原爆資料館に行ったのですが、びっくりするくらい覚えてなかったのです。ああこんな建物だったのか、こんなもの展示してあったのか、本当に無関心だったんだと改めて思いました。

被爆者の方のお話を聞く機会もありました。今までにも何度か体育館に全生徒が集まって聞くことはありました。その時は10人くらいの少人数で聞きました。

やっぱり大人数で聞くのと少人数で聞くのとは証言者の思いだったり情景だったりエネルギーの伝わり方が全然違うんです。この作品のセリフにもありますが、ぶわーって色んなものが伝わってきてこれを色んな人に伝えていきたいなと思いましたし、福島のボランティアに参加した際に進入禁止区域ギリギリまで行って壁の向こう側とこっち側の放射線量の違いに見えない恐怖を感じて原爆は昔の話じゃなく今の話だと思いました。それを俳優として舞台を使って伝えられたらなって考えてました。そんな中この作品の出演が決まったんです。

この作品ではただ単純に原爆の悲惨さを伝えているわけではありません。若者と被爆者との関わり方、伝承のひとつの方法が描かれています。私自身この作品で伝えたかったのは高校生の「人のために動く」という純粋な心です。

私は世界情勢や歴史に関してわからないことだらけでまだまだ勉強中です。ですが私は演劇の観客に与える影響の強さは色んな可能性があると思っています。それは原爆の伝承だって可能だと思います。今の日本に必要なのは戦争を知っている世代と知らない世代がどうつながっていくかということだと思います。だから演劇を通していろんな問題をいろんな人たちと一緒に考えていけたらなと思っていますし、俳優として多くの人に心が動く瞬間を与えていきたいと思っています。

獄中メモは問う

作文教育が罪にされた時代

佐竹 直子

道新選刊



「叩く、ける、座らせる。おどかさ。
そのうちに自分も妙な気持ちになり、
「赤く」なっていた」

戦時下、作文指導に励んだ北海道の教員が次々と治安維持法違反容疑で逮捕された「北海道綴方教育連盟事件」。2013年に見つかった教員の「獄中メモ」を基に、事件の実相に迫った。70年余りの時を経て現代に問いかけるものとは――

北海道新聞社文庫版（本体1290円＋税）

私は著者佐竹直子さんに、埼玉民教連第10回記念講演「生活綴り方弾圧事件を追って」でお会いした（2014年6月）。講演に深く心打たれた。佐竹さんは40代、北海道新聞釧路支社の記者である。北海道新聞社から『獄中メモは問う』の本を出版され、2015年JCJ（日本ジャーナリスト会議）賞を受賞した。2013年夏、佐竹記者は「教科書の墨塗り」取材していた。95歳の元教員が「戦争で受けた深い心の傷は、尊敬していた先輩がある日突然、学校から消えたことです」と。著者はその時初めて昭和15年に釧路綴り方事件があったこと、尋常小学校教員が逮捕されたことを知った。すぐに札幌に住むその先輩教師、坂本亮さん（2007年99歳で死去）の次男宅で取材、遺品の中から古びた紙の束を発見した。これが「獄中メモ」だった。

舞台は日本が中国への侵略戦争の泥沼にあった1940年、児童の極貧と向き合い綴方教育に励んだ北海道の教師56人が治安維持法違反で逮捕された「北海道綴方教育連盟事

佐竹直子著

北海道新聞社 2014年 1296円＋税

獄中メモは問う

作文教育が罪にされた時代

評者 加藤やよひ 国語研究委員

件」のメモだった。すでに逮捕者全員が亡くなっていた。メモの「叩く、ける、座らせる」の拷問の記述を手掛かりに、粘りの取材でメモの筆者を突き止めた。折しも特定秘密保護法の国会審議と重なり今まで口を堅く閉ざしていた関係者が体験を寄せてくれるようになった。北海道新聞釧路根室版に31回の連載特集となった。この本はそれを元に単行本にしたものである。今に「生きている事件」と訴える。逮捕された教員は全員が職場追放、獄中3年半の末、有罪判決となった。釈放されてすぐに満州へ徴兵された人も複数いた。その一人、酒匂（さこう）清一さん（1960年52歳急逝）は独房に3カ月、拷問に苦しみ、意に反する供述を強いられた日々をこう残した。

しんしんと雪降る獄に同志狂ふ
寒燈下観念す手錠されいたり

この書は戦中の思想弾圧事件が「でっち上げ事件」であり、国家の戦争犯罪であることを私たちに伝えている。安倍政権が戦争法を施行し、改憲をねらう今、教員への思想弾圧は我が身に迫る。今こそ必読の書である。

編集後記

▽「賃金未払い」「契約無視の長時間労働」「ノルマとして自腹で商品を買わす」等、「ブラックバイト」が深刻化する中で、被害に泣き寝入りせず、声を上げ、組合をつくった高校生、小木友梨子さん。▽全国初の高校生ユニオンです。「高校生でも自分で聞えるよ」と背中をおしたのは一人でも入れる首都圏青年ユニオン。5人の仲間と雇用者（店長）との団体交渉で賃金未払いの解決や着替えの時間を労働時間に含ませる、休憩や有給休暇をとらせるなど法律を守らせる改善が示された、と東京新聞（4/23）の取材にのっています。▽「おかしい」と気づいて声を上げる、権利を知り、行使する、一人で悩まず組合や周りの人に相談する大切なことを教えてくれています。▽シールズやティーンズソウル、ママの会など若者が「安保法制廃止」の声を上げている中、私たちも黙ってはいられません。（山内）